

こまめな消灯

運用改善 メンテナンス チューニング 設備更新

○ 使用していないエリア(従業員が不在など)は消灯することで節電できます。

試算例

朝9時～夜8時の間にこまめな消灯を実施すると...

■ 節電効果 : **節電効果 1万円/年** 【高圧電力S単価を適用】
節電電力 約 1.6kW
節電電力量 約 800kWh

■ 対策内容 : こまめな消灯

■ 計算式 : 節電電力(kW) = 消費電力
節電電力量(kWh) = 節電電力 × 対象時間 × 対象日数

(試算条件)

消費電力: 1.6kW

{(休憩室: 蛍光灯40W × 17台)

+ (書庫: 蛍光灯40W × 8台) + (資材庫: 蛍光灯40W × 16台)}

対象時間: 2時間/日(仮定)

対象日数: 250日/年

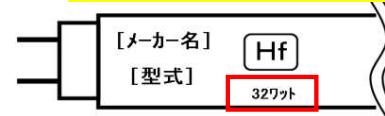
ポイント

■ 従業員が不在になる際はこまめに消灯するようにスイッチに注意喚起を促す工夫も大切です。

■ 昼休みなどは完全消灯することで、更に節電となります。

参考

ランプ消費電力: 32W



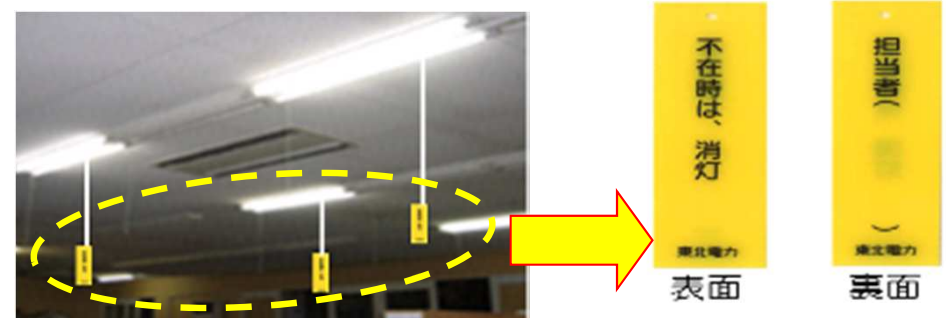
ランプ消費電力の見方



従業員不在時での照明点灯事例



照明スイッチ色分けシール



照明プルスイッチ用タグ札

こまめな消灯へ向けた啓発活動事例

注) 本内容はお客様の運用状況等によって異なる場合がございます